


# 教育課程の展開例を活用したタブレット活用のアイデア


1 活用した教育課程の展開例 →特4-10

2 展開例を活用したタブレット活用のアイデア

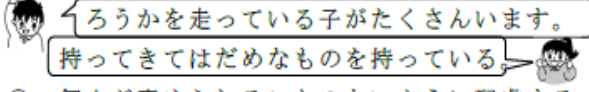
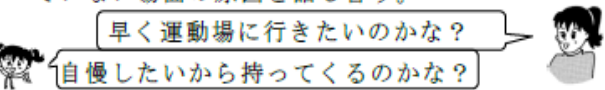
① ロイロノートのアンケート機能を活用して、集計結果をグラフで提示する。



② ロイロノートのシンキングツールを活用して、自分の考えを図に表し、考えを共有する。



**4 指導過程**

学習活動	指導上の留意点
<p><b>1 実態や現状の把握 (つかむ)</b> 学級生活の中で、きまりを守れていない様子を出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケートの結果を掲示し、どのような場面できまりを守れていないのか共有する。   </li> <li>○ 個人が責められることのないように配慮する。</li> <li>○ きまりが守れていない場面を想起させ、どんな気持ちになったのかについても確認する。</li> <li>○ グループに分かれて、いくつかのきまりを守れていない場面の原因を話し合う。   </li> </ul>
<p><b>2 原因の追求 (さぐる)</b> なぜそのようなことが起こるのか、原因について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どうすればきまりを守ることができるのか、意見を発表させ、板書する。</li> <li>○ グループで発表し合う場合は、付箋紙を配り、付箋紙にアイデアを書かせる方法が意見をまとめたり、分類したりするのによいことを伝える。</li> </ul>
<p><b>3 解決方法等の話し合い (見つける)</b> どうすればきまりを守ることができるのか、方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時を振り返り、今後自分がどのようにしてきまりを守っていくか、具体的なめあてや実践方法を決め、カードに記入できるようにする。</li> <li>○ 教師の力で解決するのではなく、自分の力で解決できるような方法を考えさせるようにする。</li> </ul>
<p><b>4 個人目標の意思決定 (決める)</b> 自分が頑張りたいことを考えて「がんばりカード」に書く。</p>	

③ ロイロノートの提出箱を活用して、自分のめあてを表現する。

3 タブレット活用の有効性について

- ① ロイロノートアプリのアンケート機能を活用することで、集計結果が分かりやすくなり、学級全体の考えをすぐに集計し、表示することができる。学級の児童の考えを集約する手間が減り、時短になる。
- ② ロイロノートアプリのシンキングツール機能を活用することで、自分の考えを図に整理し、考えを共有することができる。発言が容易でない児童も、考えを簡単に表現する機会になる。また、ロイロノートの共有ノートの機能を活用することで、シンキングツールを小グループごとに設定して、話し合い活動に活かすこともできる。
- ③ ロイロノートアプリの提出箱機能を活用することで、今後の自分のめあてを端的に表現することができ、全員のめあてを簡単に確認することができる。